# 草刈機の安全使用について



刈払機の安全と保守管理

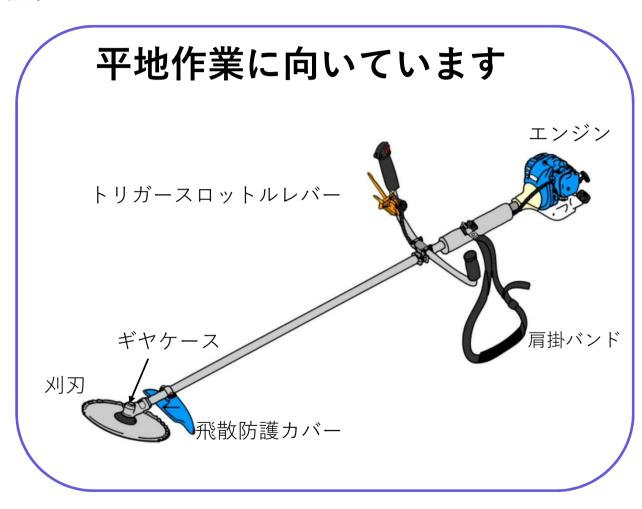
全国農業協同組合連合会 兵庫県本部 生産資材部 農機課

## ①刈払機の種類(各部名前)

肩掛け式

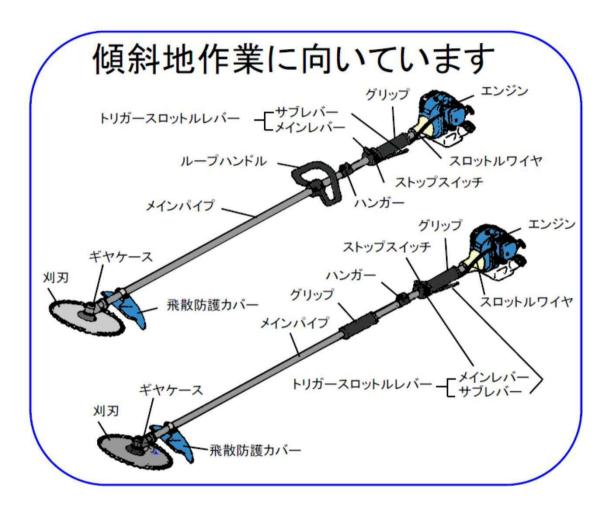
①両手ハンドル



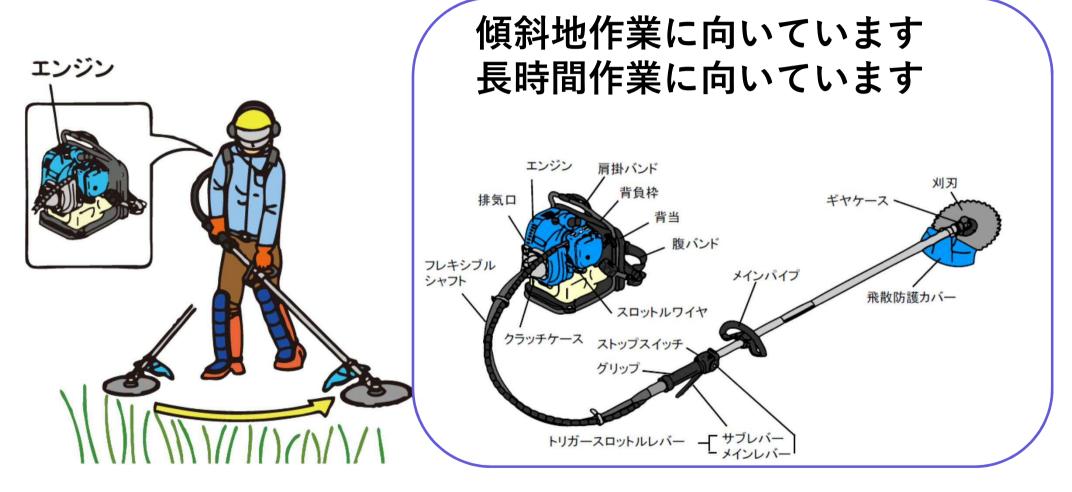


## ②ループハンドル ツーグリップ



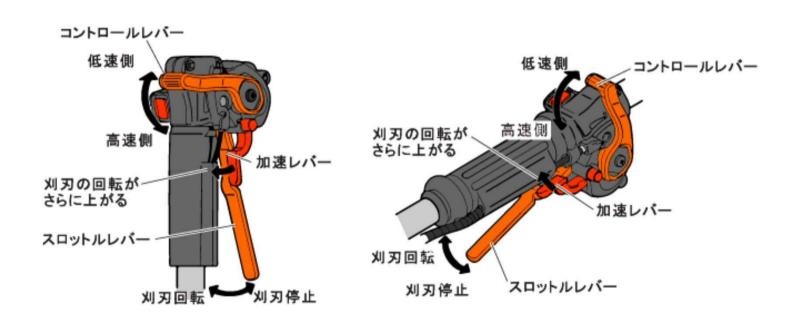


# 背負い式



## トリガー式スロットルレバー

作業時の安全のため、固定式スロットルレバーを廃止し、トリガー式スロットルレバーに変わりました。

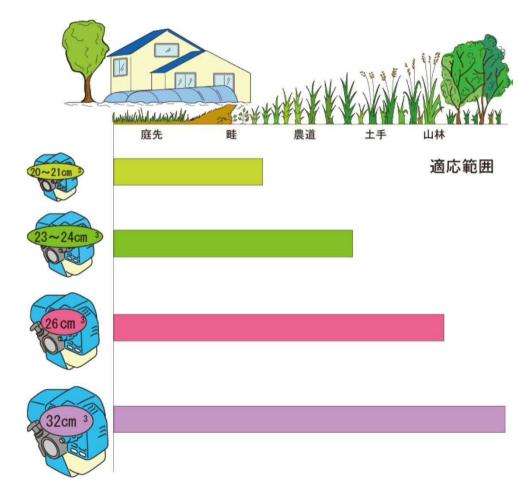


※トリガー式スロットルレバーは数種類あります。取扱説明書をご確認ください。

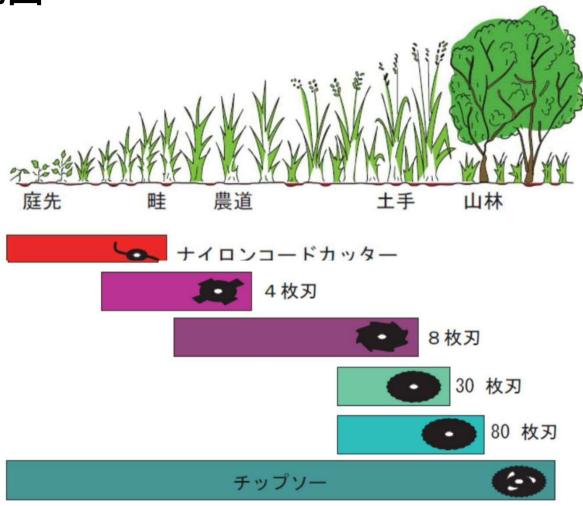
# ②エンジン排気量による分類

排気量使用用途(草の種類、使用場所)

- 1 20~21ccクラス 家屋の周りや春先の柔らかな草、 水田の畦草刈に最適
- 2 23~24 c c クラス 余裕を持って、太めの雑草、 太めの畦草に最適 普及型軽量型
- 3 26 c c クラス本格的な草刈に最適な、万能タイプ。普及標準型
- 4 32 c c クラス 使う場所及び草を選びません。 山林の下草刈や 太くて硬い草、又枯れ草に最適



# ③刈刃の適用範囲



### チップソー

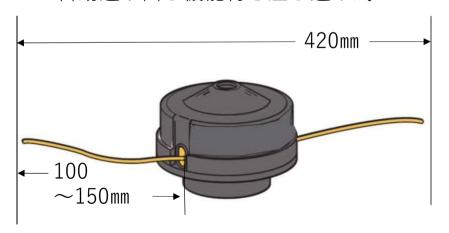
チップソーは優れた靱性のあるSKS-5(合金工具鋼)の台金にチップ(超合金)を埋め込んでいます。切れ味が長持ちしScm以下の雑木や山林の下刈りなど幅広く使用できます。



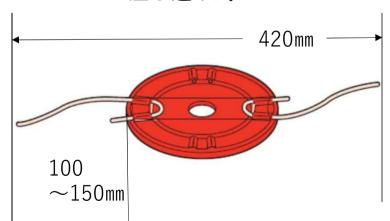
## ナイロン刃 (ナイロンコードの長さは、全長42cm以下にて使用ください)

金属刃の作業困難な場所やブロック塀、狭い場所での草刈など、柔らかい丈の短い草用の刈刃です。

自動送り出し機能付き差し込み式



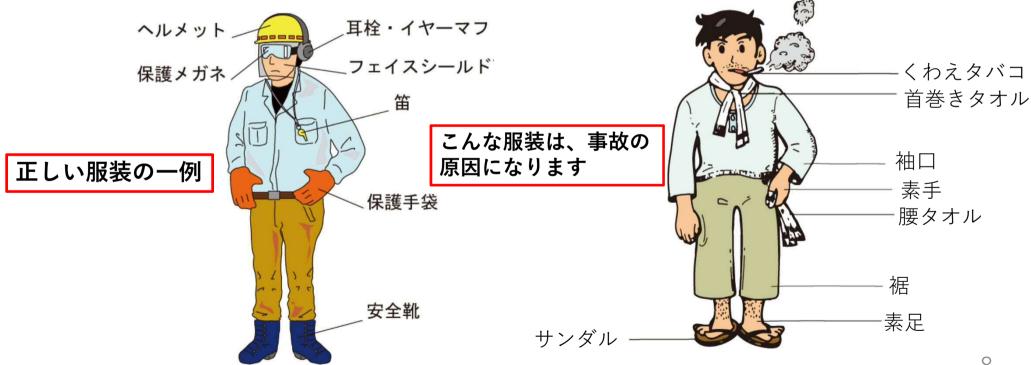
差し込み式



# ④ 作業の準備(服装、保護具の装着)

安全に作業をするために、作業に適した作業衣、保護具を使いましょう。

服装は、身体の露出する衣服は避けて、裾などは必ずズボンの中に入れて 作業中に引っ掛ける事のないようにしてください



#### 保護具

保護メガネ P/N 221460



ネットメガネ P/N 570263



ネットガンボ P/N 996952

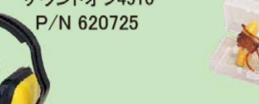


ガードネット 蜂除けネット P/N 620695

安全ヘルメット



イヤーマフ サウンドオフ4510 P/N 620725



耳栓 耳栓No.50 P/N 620726

安全靴 プロテクティブブーツライト



振動低減手袋

サイズ	P/N
М	411210
L	411211



スネガード P/N 630656



呼子



サイズ P/N 24cm 409571 25cm 409572 25.5cm 409573 26cm 409574 26.5cm 409575 27.5cm 409576

# ⑤ 始業点検(刈払機使用前のチェック)

各部のネジを点検し、緩みのあるところは増締めしてください 特に、刈刃の取り付けボルトの締め付け確認を。 保護カバーを正規に取り付いているか確認。

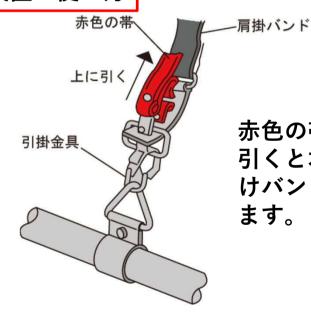




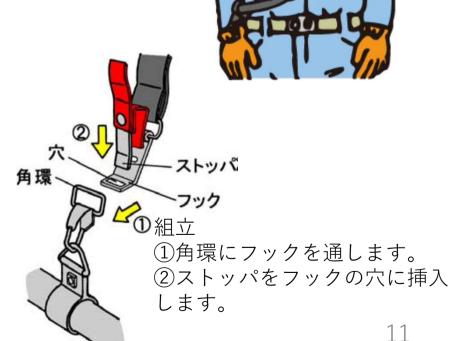
安全に使用するために、刈刃の状態 (目立ての善し悪し、損傷の有無)を必ず 点検してください。刈刃の状態が悪いと 疲労の原因になります。

- ①肩掛バンドは右図のように装着してください。
- ②肩掛バンドの引掛金具を刈払機のハンガーに取り付けてください。
- ③刈払機を身体の右側に吊り下げ、刈刃が地面と平行になるようにバンドの長さを調整してください。
- ④肩掛バンドの緊急離脱装置は図のように操作すると、本機が肩掛けバンドから離れます。作業の前にエンジンを停止した状態で安全な場所で操作の練習をしてください。

#### 緊急離脱装置の使い方



赤色の帯を上に 引くと本機が肩掛 けバンドから離れ ます。



# ⑥ 正しい混合燃料を使用しましょう

使用燃料(混合ガソリン)



注意

ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。



注意

混合燃料は1回で使い切る量だけ作ってください。 1ヶ月以上経過すると腐敗してエンジンが故障します。 燃料は、無鉛ガソリンと2サイクルエンジンオイルを25 (ガソリン):1(2サイクル専用オイル)の割合に混合した、混合燃料を使用してください

※取扱説明書を確認し指定の割合の燃料を 使用

ガソリンスタンドで購入の際は、ガソリンと2サイクルオイルとの混合を必ず確認してください

- ・混合燃料はこぼさないように注意して入れ、こぼした場合はきれいに拭き取ってください。
- ・キャップはしっかりと締めて、混合燃料が漏れないことを確認してください。漏れがある場合はキャップを締め直し、なお燃料漏れが止まらない場合は修理してください。
- ・補給時にエンジンや燃料タンクからの燃料もれがないか確認してください。もし燃料もれがある場合は、ただちに修理してください。

# ⑦ 草刈作業を安全に行うために

#### 作業前の障害物除去

草の中には、異物、障害物が混じっている事があります 飛散物による思いがけない事故に注意してください。 作業前に木の枝、石、空き缶などを排除しておきます。



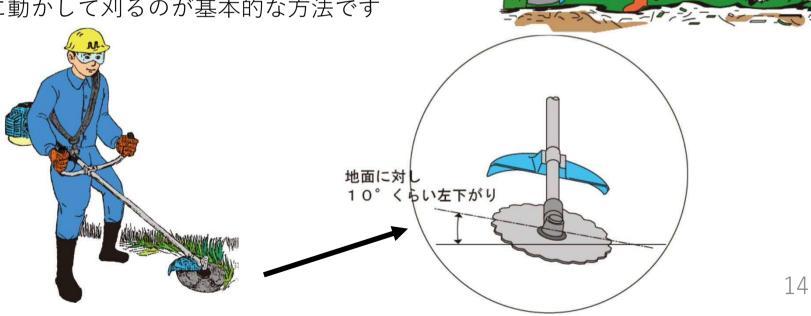
## 作業中の注意

エンジン始動時は周囲の安全を確認し、刈刃を地面から浮かせてください

作業中は15m以内に人を近づけないで下さい

刈刃の基本的な角度

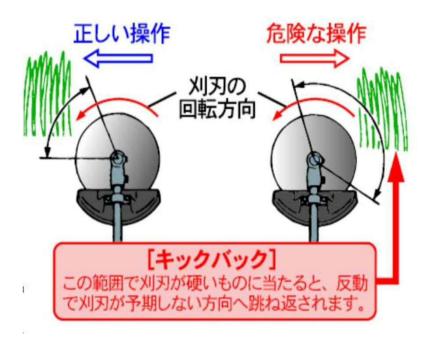
地面に対して10度位左下がりにして、腰を中心にして刈刃を地面に平行に動かして刈るのが基本的な方法です



15m 以内 近づかな いで!

## ⑧ 草刈作業を安全に行うために





点検や巻き付いた草を取除く場 合はエンジンを止めから



## 刈払機を肩に掛けた状態でのリコイルは絶対に止めてください

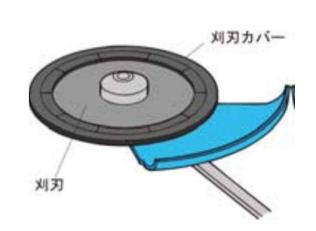
## 作業者に連絡するときはエンジンを止め、確認してから

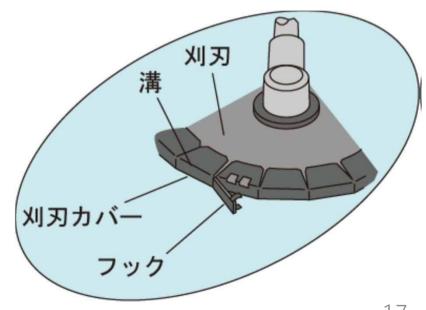




#### 作業終了後のご注意

- ①エンジンの停止直後は高温です。 マフラ、シリンダに触らないで下さい
- ②次回使用するために、各部の異常の有無、特に刈刃の変形、損傷、目立ての状態を点検してください。
- ③作業終了後は刈刃に刈刃カバーを付けてください。





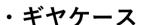
# ⑨ 点検及び長期保管

#### 点検

点検・整備は、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください

#### · 刈刃

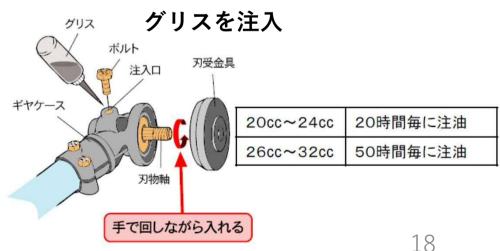
- 刈刃に異常(ヒビ、割れ、偏芯、チップの飛び等) が無いか十分点検します。
- 2) 刈刃は刈払い作業前に目立て、または交換します。



作業中に、刃物軸にビニールひも等が絡み ついた刃受け金具の内側にゴミが詰まった りするとギヤケースの故障につながります。

- 1) 刈刃交換時、刈刃と刃押さえ金具を外し ゴミを取り除いてください。
- 2) 注油ボルトを外し、刈刃軸を矢印の方向 に手を回しながら耐熱性のリチウム系グリス を注油口の口元まで注油してください。





#### ・エアクリーナ

#### カバーやボルトを外したままエンジンを運転しないで下さい

エアクリーナのエレメントが汚れているとエンジンの出力低下や始動不良を起こします。

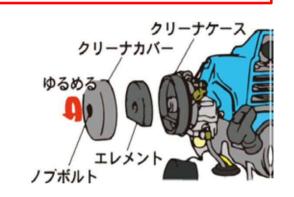
新しいエレメントに交換するか清掃してください。 清掃は下記の要領で行ってください

- 1) エアクリーナケースを開けて下さい。
- 2) エレメントを取り出し、混合燃料で洗ってください。
- 3)エレメントを絞ってから元の位置に取り付けてください。
- 4)エアクリーナケースを閉じてください。

#### ・エンジン部の清掃

エンジン各部にゴミが詰まっていると エンジンの冷却不良が発生し、オー バーヒートの原因になります。







#### 長期保管

1週間以上使用しない場合は必ず混合燃料を抜き取ってください

混合燃料がタンク内やキャブレター内に残ったまま長期保管すると混合 燃料が変質してエンジンが始動できなくなります。

#### 燃料の抜き方

①燃料タンク内の混合燃料を 燃料缶に排出してください

②キャブレターのプライマー ポンプを混合燃料が出なくなる まで押して配管通路内の燃 料をタンクに戻してください

④最後にエンジンを始動してエンジンが 止まるまで低速で運転してください





③もう一度燃料タンク内混合燃料を燃料 缶に戻してください



## 最後に

草刈作業における農作業事故は刈払機だけではありません。 自走式の畦畔草刈機やトラクター装着型の草刈機の導入も進 み今まで以上に草刈作業での事故発生が考えられます。使用 頻度が多い草刈機(刈払機)での事故やケガを未然に防ぐた めにも、改めて取扱説明書で使用方法を再確認し、安全第一 で作業していただきます様お願いいたします。

ご清聴ありがとうごいました。